

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007  
FAX03-3261-5453

2017年5月15日（月）

NO. 752号 本号3頁

## 17日衆院法務委員会、18日衆院本会議での 強行採決を阻止しよう！

## 憲法違反の共謀罪

今週が衆院での山場を迎えます。16日には参院法務委員会が開かれますが、衆院法務委員会では午前中参考人質疑が行われます。与党は、17日に安倍首相も出席して衆院法務委員会を開催し、採決したい考えです。委員会で採択されれば、18日の衆院本会議で強行採決する考えです。

共謀罪NO!実行委員会と総がかり行動実行委員会は、15日から国会前での昼の集会、午後の座り込み、夕方の集会を、先週に続き、連続して行います。16日の夜には、日比谷野音集会・銀座デモを行います。全国各地で、共謀罪創設阻止に向けて、奮闘しましょう！

### 衆院法務委員への要請を強めよう！

共謀罪法案めぐる情勢はいよいよ緊迫しています。衆院法務委員への要請を強めましょう！「緊急要請文案」を参考に、できれば一言付け加え、国会内の事務所および地元事務所にファックスし、「要請の山」を築き、世論を示しましょう！

#### 【要請文 例】

衆議院法務委員 様

共謀罪（テロ等準備罪）法案について、政府に国民への説明をするよう徹底した審議のうえ廃案にしてください。ましてや多数による強行採決など議会制民主主義の自殺行為です。

共謀罪（テロ等準備罪）法案について、国会審議のなかで、政府の説明に納得できない問題が次々と出ています。到底納得できません。国会議員のみなさまが国民の代表としてぜひ政府の説明を質すことを期待します。それは例えば下記のような諸点です。同時にこれらは、政府がどのように説明しても、説明のつかないものです。この法案がもつ本質的な危険性、問題点であるからです。廃案にすることによってしか解決できません。この法案に反対し、廃案にしてください。ましてや多数による採決強行など議会制民主主義を踏みにじるものであり、絶対行わないでください。

◇「準備行為」があるから内心の自由は侵されないのですか？

その具体例として、金田法相は、花見ならお弁当を持っている、下見なら双眼鏡を持っているから区別できると説明しました。これで、国会議員のみなさんは納得されているのですか。

◇そもそもテロリズムとはなんですか？

テロリズムの定義も明確にならないもとの、「テロ対策」とはおかしいです。

◇テロ対策のために組織犯罪防止条約に締結することが必要？

同条約の「立法ガイド」執筆者が「条約はテロ対策が目的ではない」と、朝日新聞の取材に明言しています。政府はきちんと説明すべきです。

◇一般人は本当に捜査対象にならないのでしょうか？

金田法相は、「嫌疑がなければ捜査対象にならない」と説明しますが、嫌疑の有無を決めるのは警察です。一般人かどうかの判断は警察がおこなうのですか。かつての治安維持法制定の際も同様の説明で、その後適用と刑罰の拡大がはかられ、影響は広範囲に及びました。今回も強い危惧を持ちます。



送り先 衆院法務委員会委員 添付の名簿を活用してください。

## 安倍改憲発言のシナリオは「日本会議」

安倍首相の憲法9条改憲発言のシナリオを書いたのが、改憲右翼団体の日本会議であることが明らかになりました。また、9条に3項を付け加える狙いが、戦力不保持と交戦権を禁じた2項の空文化を図ることにあると語っていることも明らかになりました。

安倍首相は5月3日の日本会議が開いた改憲集會にビデオメッセージを寄せました。その日本会議関係者からすでに3項に自衛隊を明記する改憲論が出されていました。

日本会議センター機関誌『明日への選択』昨年9月号で、日本会議の政策委員で、第1次安倍政権から安倍首相のブレーンをつとめてきた伊藤哲夫・日本政策研究センター代表は、「憲法第9条に3項を加え、『但し前項の規定は確立された国際法に基づく自衛のための実力の保持を否定するものではない』といった規定を入れること」と提案しています。さらに同センターの小坂実研究部長は、同誌昨年11月号で「『戦力』の保持を禁じ、自衛隊の能力を不当に縛っている9条2項は、今や国家国民の生存を妨げる障害物…。速やかに9条2項を削除するか、あるいは自衛隊を明記した第3項を加えて2項を空文化させるべきである」としています。

日本会議の狙いは、3項に自衛隊を位置付け、2項を空文化＝死文化にすることであり、安倍首相は日本会議の方針の通りに発言したのです。日本会議と安倍首相は、自衛隊を2項の制約から解放し、海外における武力行使を無制限に行えるようにしようとの狙いです。

### 安倍首相自民党内での改憲論議の加速を指示

安倍首相は自民党内の改憲論議の加速を指示しました。首相は、自民党の保岡興治憲法改正推進本部長と党本部で会い、改憲を巡る自らの提案を踏まえ、「衆参両院の憲法審査会に出すわが党の案をしっかりとめる努力をしてほしい」と党独自の改憲案作成を指示しました。

9条以外に改憲対象となり得る項目に関し、保岡氏は記者団に「大きな自然災害時の緊急事態条項などいろいろあることを、首相は認識している」と説明しました。

これに先立つ自民党改憲推進本部の全体会で、保岡氏は「改憲案を具体化するため議論を加速させる。これからの党の態勢をつくり上げたい」と話しました

### 公明党が安倍首相の9条改憲案に「ちょっと待った」

公明党の山口那津男代表は9日の記者会見で、安倍9条改憲発言について、「これまでの自民党憲法改正草案とは違った視点のようなので、それを自民党の中での議論に委ねたということだ。われわれはそれを見守りたい」と発言しました。山口氏は2015年の戦争法＝安全保障関連法成立を受け、9条改正は当面必要ないとの立場をとってきましたが、9日の記者会見では「基本的に考え方は公明党としては変わっていない」と語りました。首相の改憲意向表明は、事前に知らされていなかったとも明らかしました。

井上義久幹事長は12日の記者会見で、首相発言を巡り「直ちに憲法上明記しなければ、安全保障に支障があるという状況ではない。日程ありきではない」と指摘し、「改憲の議論は、国会のできるだけ幅広い合意が必要だ」と発言し、慎重な姿勢を示しました。

マスコミ各社は、首相発言を受けての公明党での議論は当面、行わない意向とみられると、報道しています。

## 各地のたたかい

### 埼玉 埼玉憲法会議などがデモで、共謀罪法案の廃案を訴える！

埼玉憲法会議と「秘密保護法の撤廃を求める埼玉の会」は11日、「共謀罪」法案の廃案を求めて、さいたま市の県庁前からJR浦和駅前までデモ行進しました。70人が参加し、横断幕やプラカードを掲げながら、「ラインやメールものぞかれる共謀罪反対」「監視社会は許さない」などとコールしました。

デモ前のスピーチで、埼労連の伊藤稔議長は、安倍首相の憲法9条改憲発言などをきっかけに「共謀罪」への国民の不安も大きくなっている」と述べ、「共謀罪のおそろしさを市民にもっと伝えよう」と訴えました。

参加者への行動提起で、与党による法案の採決強行を阻止するために、国会前行動や各地の集会に参加すること、29日正午、県庁前集合で行う埼玉弁護士会主催のデモに参加することなどが呼びかけられました。

## **自治労連** 中央委員会で憲法改悪や共謀罪法案阻止のたたかいを意思統一!

自治労連は12日、大阪市内で第55回中央委員会を開催。安倍首相が表明した憲法改悪や、共謀罪法案の阻止、全ての労働者の賃上げ等の方針が提案されました。

あいさつした猿橋均委員長は、安倍首相が9条に焦点をあてた明文改憲を推進するよう表明したことを批判し、「憲法順守義務をないがしろにしたもので、許すことはできない」と述べました。そして、共謀罪法案について「国民の反撃を抑え込むことに最大の狙いがある」として、成立阻止のたたかいを地域から広げていくことを呼びかけました。

方針では、共謀罪の危険性を知らせ、反対の世論をつくると提起。また、改定された地方公務員法などにかかわって、「安上りで使い勝手のよい」臨時・非常勤職員の拡大・固定化につながらないよう、改善に向けたたたかいを強化するとしています。

## **静岡** 「憲法を考える市民の集い」で「米軍新基地は許さない」と!

静岡県憲法会議は3日、憲法施行70周年を記念した「憲法を考える市民の集い」を静岡市葵区で行いました。上野郁子・名護平和委員会事務局長の講演に参加した296人が聞き入りました。

上野氏は、名護市辺野古に米軍新基地建設が強行されているが、地方自治破壊の憲法違反であり、基地があるゆえ人権が蹂躪されていると批判。「日本国憲法の下で人間らしく暮らしたい。沖縄県民の切なる願いであり、日本国民全体の願いでもあると思う。政権交代を実現して、人間らしい暮らしができる日本にしていこう」と訴えました。

会場から「私たちに何かできることはあるか?」と問われ、上野氏は「共闘して、安倍政権を倒してほしい。新しい政府づくりを皆さんの地元でお願いします」と呼びかけると、海自要は拍手でこたえました。

主催者あいさつで林克代表委員(県評議長)は「北朝鮮情勢が緊迫しているからこそ、日本国憲法を守り、いかしていくことが大事。日本のなかで一番憲法が問われる沖縄について学び、私たちの日常生活にとって憲法はどうあるべきか考えていこう」と語りました。

民謡楽器の「一五一会」を使った会津里花さんの演奏も行われました。

## **三重** 「5・3 憲法を考える三重県民のつどい」に120人参加!

三重県憲法会議は3日、津市で「5・3 憲法を考える三重県民のつどい」を約120人の参加で開催しました。佐藤潤一大阪産業大学教授が「憲法はすでに改正されている?」をテーマに講演。佐藤氏は、憲法9条がすでに無意味なものになっていると見えるが、他国への侵略などができない歯止めになっている、その歯止めがなくなり、9条もないと世界8位の軍事費の自衛隊がどうなるのかと改憲の危険性を述べ、批判の声を上げ続けること、選挙に行って変えることを訴えました。



参加者からは、安倍内閣の支持率がなぜ高いのか、若者にどうわかりやすく伝えるのか、などの質問が出されました。閉会あいさつで石坂俊雄県憲法会議副議長が、共謀罪を廃案にしていこうと強調しました。

参加した伊藤由利子さんは、「日本の憲法はすばらしい。安倍さんがウソを言わざるをえないのは9条があるからとよくわかった」と語りました。